

参加者が自ら取り組んでみたい「私発！協働プロジェクト」を提案！

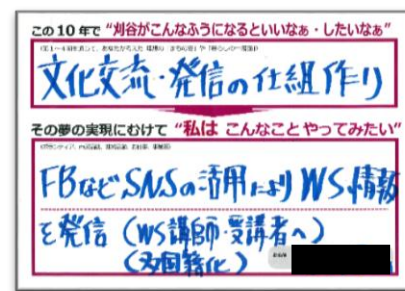
～ 第5回 市民まちづくり会議 開催レポート ～

第8次総合計画策定における市民参加の一環として、令和元年6月にスタートした「市民まちづくり会議」。第5回会議を、9月14日（土）に中央生涯学習センター（総合文化センター内）5階 501 講座室で開催しました。

最終回となる今回は、第3・4回で検討した「今後10年の具体的な施策・事業」や「協働事業」の議論を踏まえて、参加者自身がまちづくりのために何ができるのか、何をしていきたいのかを考え、参加者同士で意見交換を行いました。

■これまでの議論を踏まえて、個人単位で“私発！協働のまちづくりアイデア”を検討

第4回で出された協働事業のアイデアを踏まえて、今後の刈谷のまちづくりを推進するために、「10年における理想のまちの姿・暮らしの一場面」と「その夢の実現にむけて“私はこんなことやってみたい”」という視点で、個人単位で協働のまちづくりのアイデアを提案してもらいました。



■お互いのアイデアを持ち寄って、グループで「協働プロジェクト」を提案

次に全員で車座になり、個人で考えたアイデアを一言ずつ発表しました。その内容を聞きながら、関連するアイデアを持っている人や一緒に取り組んでみたい人などにお互いに声をかけあい、3～4人一組でグループをつくりました。

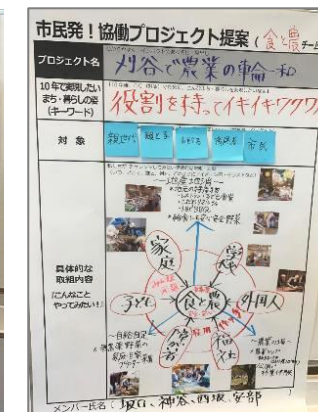
グループワークでは、メンバーが持ち寄ったアイデアのイメージを共有し、それぞれのアイデアの特徴や共通点などを整理しました。それらを組み合わせながら、今後自分たちがチャレンジしてみたい具体的な取組を「協働プロジェクト」の提案としてとりまとめました。



■協働プロジェクトを発表し、今後の行政と市民の協働のまちづくりを展望

計7つのグループから順番に協働プロジェクトを発表してもらいました。短時間のグループ作業にも関わらず、具体的で魅力のある提案が数多く出されました。今後の総合計画の策定及び推進に向けて、行政と市民が連携して取り組んでいくことの意義や重要性を踏まえて、「自分たちでチャレンジしてみたい」という思いのこもった提案を頂きました。提案タイトルは以下の通りです。

- LOVE刈谷チーム「深化する「心・技・体」プロジェクト」
- 絆チーム「地域の絆づくり事業」
- 体験を学ぶチーム「体験とモノづくりのテーマパーク『アソビバマナビバツクリバVIVA刈谷』」
- 木曾チーム「盛ん大学の発足」
- 公共交通チーム「かりまる改造 Project」。
- 防災促進チーム「学校に泊まる」
- 食と農チーム「刈谷で農業の輪・和」



■参加・協力の御礼

閉会にあたり、事務局より今後の計画策定にむけた流れや、本会議の計画への反映の方法などを説明し、計5回の本会議への参加協力への御礼をお伝えして会議を終了しました。

最後に、参加者全員で集合写真を撮影して全5回の会議を終了しました。ご参加頂いたみなさん、誠にありがとうございました。

